

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	環境体験学習推進事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	-------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

子どもたちと自然環境とのかかわりを通じて、環境学習を推進する。

(事業概要等)

参加者(泉大津市・日高川町内の小学生)に対し、和歌山大学の教員や学生が作成した教育プログラム(2泊3日の宿泊を伴うプログラム)を提供し、交流や体験を通じた環境教育を促す。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,314	1,315	3	1,466	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
参加者	人	29	30	0	0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から事業を中止とした。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	令和3年度については、体験学習ができないため、新たな取り組みとして、和歌山大学の生徒が泉大津市と日高川町で取材した内容をまとめて、小学生向けの教材を作成し、映像も作成する。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	令和3年度については、新たな取り組みのため、どのような形で効果検証するかが課題と考える
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 継続することが、環境学習の推進につながると考える
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	LED照明整備事業(学習館)	担当課名	生涯学習課
-----	----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまちをめざし、文化施設のLED化を推進することで、環境に配慮した施設へ改善を図る。
池上曾根弥生学習館「体験の広場」の外灯(水銀灯4灯)のLED化

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			234		
うち市負担分(千円)			0		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
「体験の広場」外灯のLED化により、電気使用量の削減が図れた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 脱炭素社会の実現を目指すための重要な施策であり、継続していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	1	生涯学習推進体制の整備

事業名	社会教育活動推進事業	担当課名	生涯学習課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

社会教育に関し、教育委員会に助言することを任務とする社会教育委員会議の運営を行う。
また、生涯学習を推進するため、大学との連携や公民館活性化等の事業を行う。

(事業概要等)

社会教育活動を推進するため、社会教育委員会議で事業内容について審議を行う。
また、生涯学習を推進するため、南大阪コンソーシアム連携事業、公民館等施設活性化事業、親学習事業などを行う。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,531	1,256	3,005	2,892	
うち市負担分(千円)	1,373	1,076	2,825	2,712	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
社会教育委員会議(研修等含む)開催回数	回	6	3	1	6
親学習開催回数	回	3	3	5	6

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

親学習リーダーを中心とした学習会の開催回数であり、回数を多くすることで学習提供の機会を創出できたと考える。
社会教育委員会議については、新型コロナウイルス感染防止の観点から令和2年度の回数は減少となった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	連携大学と協働して、生涯学習事業に大学がもつ知的・人的資源を導入した。 本年度から学校運営協議会の設置に伴い、新しく地域学校協働活動関連の予算を計上した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	地域、学校教育、生涯学習が連携した教育・学習活動をより進めることが課題である。 オンラインによる開催等の新たな形態による取組について考える必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 社会教育委員会議の運営は必須である。 大学連携等についても、引き続き発展的に実施する。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	団体等育成支援事業(生涯学習)	担当課名	生涯学習課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
社会教育活動に尽力するとともに、活動を通じて市の社会教育の向上に貢献している社会教育関係団体を支援する。
(事業概要等)
社会教育に関わる各団体への助成を行う。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,729	2,612	1,879	2,631	
うち市負担分(千円)	2,729	2,612	1,879	2,631	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
活動を通じた市の社会教育の向上への貢献を目的とするため、数値化することは困難					
(成果の概要)					
各社会教育団体の活動が活発に行われることによって地域貢献が行われた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	団体補助であり、運営補助であるので、補助金がどのような事業でどう活用されたのか確認することが難しい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 同上
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	4	つながりある教育体制の充実

事業名	放課後子ども教室推進事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動などを支援する。

(事業概要等)

近隣自治会や地域のボランティア等の協力を得て、学校の図書室を地域開放し、子どもたちの活動拠点(居場所づくり)を確保。読み聞かせなどのイベントを行い、本を読む機会を増やすとともに、さまざまな催しを行うことで、地域住民との交流活動等を支援する。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	420	420	420	700	
うち市負担分(千円)	244	355	225	375	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
開設日数(りぶれEBISU)	日	41	38	22	40
開設日数(ミント条東)	日	12	10	3	11
開設日数(ブックランド・あさひ)	日	3	11	1	12

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

小学校の図書室を定期的に開放し、地域の子どもを中心に読書をするほか、さまざまなイベントなどを行うことで、市内における居場所づくり、地域交流の拠点の一つとなっている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	地域の自治会やボランティアの方によって運営される委託事業であるため、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	継続的な運営の担い手の掘り起こしや確保。
---------	----------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 読書環境や地域の交流拠点の整備には、今後も継続的な実施が必要であるため。
改革・改善策等の具体的内容	現行の3校に加え、地域開放実施校を増やすことを考えている。今後も継続的な地域開放事業が行えるよう、運営の担い手の掘り起こしや確保に注力する必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実
事業名	学校図書室地域開放事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動などを支援する。
(事業概要等)
学校図書室開放時に子どもたちのためのイベントを催す際、ボランティアに謝礼を支払う。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	25	25	5	100	
うち市負担分(千円)	25	25	5	100	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
図書室開放事業に伴うイベント開催日数	日	5	5	0	6
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点からイベントを行うことはできなかった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	地域の自治会やボランティアの方によって運営される委託事業であるため、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに招致する講師等のラインナップが少ない。 ・例年と同じ内容のイベント実施が多い。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 読書環境や地域交流拠点の整備には、今後も継続的な実施が必要であるため。
改革・改善策等の具体的内容	イベント実施の際は、招致する講師等のラインナップにバリエーションをもたせられるよう、各委託先の団体へ働きかける。 地域開放実施校を増やすことで、イベントの回数、バリエーションも増えると考えます。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実
事業名	生涯学習推進事業	担当課名	生涯学習課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
広域で連携し取り組んでいる、外国人や識字学習者向けの日本語よみかき教室及び泉北日本語よみかき交流会を、広く市民対象に開催し生涯学習の推進を図っている。
(事業概要等)
広域で連携し取り組んでいる、外国人や識字学習者向けの日本語よみかき教室及び泉北日本語よみかき交流会を、広く市民対象に開催し生涯学習の推進を図っている。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	326	281	240	0	令和3年度より社会教育活動推進事業へ移行
うち市負担分(千円)	326	281	240	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
よみかき教室開設日数	数	43	37	32	46
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉北地域に住む外国人や識字学習者に学びの場を提供できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 日本語識字施策については、政策推進課の国際交流部門と協力して実施している。日本語の習得は生涯学習事業推進には不可欠であるため、継続して実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	令和3年度より社会教育活動推進事業へ移行	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実
事業名	おてんのう会館管理運営事業		担当課名	生涯学習課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域コミュニティ醸成の場であるおてんのう会館の運営を支援する。
(事業概要等)
おてんのう会館の運営に必要な経費(光熱水費等を除く)を負担し、地域住民の生涯学習の拠点となるよう運営する。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	416	256	245	239	
うち市負担分(千円)	416	256	245	239	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
延べ利用者数	人	9,611	7,590	2,334	5,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
地域住民の生涯学習拠点として利用が図られた。 令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から臨時休館している期間があったため、大幅減となっている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	公共施設適正配置計画との関連もあり、あり方の検討が必要である。
---------	---------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 施設の実際のサービスから考えられる運営形態にすることが望ましいと考える。
改革・改善策等の具体的内容	施設の実際の役割が、一般的な自治会館と同様であることから、その運営形態も同様にする方が、住民の公平性から考えても適当であるので、地域の自治会館となるべく、地域に権利を移すことが望ましい。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	図書館運営・図書館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
公共図書館として、資料の収集・整理・保存を行い、市民の利用に供し、市民の求める情報等を把握し、読書に親しむ機会を提供する。そして、読書が生活の中に習慣付けられ表現力や想像力等を養っていくうえで、その一助になるよう努める。また、IT化等の推進により利用者の利便性の向上、事務の効率化を図っていく。
(事業概要等)
図書等の整理及び貸出、返却業務(配架も含む)、レファレンス業務、団体貸出業務、予約、蔵書点検、施設の維持管理及び修繕。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	32,696	34,891	33,078	166,495	R3.9新図書館開館(予定)
うち市負担分(千円)	32,660	34,871	33,068	165,477	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
利用者人数	人	69,778	64,033	51,163	120,000
貸出冊数	冊	264,516	240,954	204,545	460,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
R02年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限や臨時休館の影響大きく、利用者人数、貸出冊数とも減少。 一方、本の手帳の積極的な推進や、新図書館移転に伴う臨時休館にあわせ、貸出冊数の増加及び貸出日数の延長を実施することで、実績値の減少幅を可能な限り少なくするよう努めた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> 窓口業務の一部委託 泉北地域(泉大津市・堺市・高石市・和泉市・忠岡町)図書館相互利用(平成25年度より) 読書推進機能の充実(インターネットサービス等) 読書推進事業(「本の手帳」の推進)
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> 資料等の充実 施設の老朽化による修繕・改修の増加 館内の備品類等の劣化 図書類の収容能力の限界 駐車場スペース不足
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 上記、課題(問題点)のとおり
改革・改善策等の具体的内容	上記、課題や問題点を解消すべく、新図書館を移転整備する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	ブックスタート事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての世代が学びあい、育ちあえるまちをめざし、「絵本」を通じて、赤ちゃんと保護者に心地よい・心触れ合う、ひと時を過ごしていただくとともに、「絵本」の素晴らしさを実感・体験してもらう。
(事業概要等)
乳児(4か月)と保護者に絵本を贈り、ボランティアによる読み聞かせを行う。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	356	609	616	586	R3.9新図書館開館(予定)
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
ブックスタート参加率(参加人数/4ヶ月健診対象者)	%	99	92	95	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
保健センターと連携を図り、例年は保健センターが行っている乳児健診時(4か月)に、絵本を手渡し、読み聞かせを行うも新型コロナウイルス感染拡大の影響で、読み聞かせを中止した回があったことから参加率は減少。一方、読み聞かせは中止となったものの、絵本の手渡しは継続し、通年で599組に絵本を手渡した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼い時期より本(活字)に親しみを感じてもらい、読書を習慣付けることに寄与しているため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	新図書館整備事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
本を読む、学習する、調べるといった機能や、市民が憩い、安らぎ、暮らしを楽しむ公共空間としての機能を強化しながら、多様化・複雑化する市民ニーズや知的好奇心、興味に幅広く応えるため、また図書館の集客性を活かして様々な層の来館者の交流を促進し、駅周辺の恒常的なにぎわいの創出を図るため、「多種多様なイベント・セミナー」を積極的に開催するとともに、中小企業等が抱える経営課題や、創業時の課題に対して必要な書籍や情報を提供することで、企業の業績改善など様々な課題の解決に寄与し、また創業しやすい土壌を整備する「ビジネス支援機能」を充実させるなど、新たな付加価値を有した「泉大津市の魅力・情報の発信拠点」としての機能を持つ新しい図書館を整備する。

(事業概要等)
本市が目指す図書館を整備するため、新図書館の設計に係る事務の遂行並びに市民とともに造り上げる図書館であることを位置付けるため、図書館に関するフォーラムや市職員に対する研修を開催し、図書館整備の機運醸成を図る。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			192,011	18,339	当事業は新図書館開館に伴い、R03年度で終了予
うち市負担分(千円)			152,011	18,339	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値

(指標を設定できない理由)
図書館の完成が成果となることから指標化には馴染まないため。

(成果の概要)

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 令和3年9月開館(予定)に向けて関係事務を執行するとともに、開館以降も市民とともにある図書館を目指し、様々な手法にて機運醸成を図るための取り組みを検討する。
改革・改善策等の具体的内容	新図書館は、本・新聞・雑誌・商用データベース等、豊富な種類の資料や情報を提供する。また、積極的なICT機器等の導入によって来館者の利便性の向上を図るとともに、レファレンスなど図書館職員にしか提供できないサービスの質の向上に注力し、地域の情報発信拠点並びにまちづくりの拠点として整備する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	南公民館運営事業・南公民館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての世代が学びあい育ちあえるまちをめざし、市民にとって身近な公民館施設は、市民の実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の実施をもって、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である南公民館の維持管理をする。
(事業概要等)
定期講座・講習会・討論会・講演会・実習会・展示会等を開催する。 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。 体育、レクリエーション等に関する集會を開催する。 各種団体、機関の連絡を図り、施設を住民の集會その他の公共的利用に供する。 南公民館の利用者が快適に使用できるように維持管理をする。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	9,927	11,766	12,602	9,257	
うち市負担分(千円)	9,927	11,766	12,602	9,257	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	30年度 実績値	R元年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
各室使用回数	回	3,269	2,919	1,707	3,500
各室使用人数	人	41,835	34,472	18,003	50,000
各クラブ開催回数	回	1,693	1,574	1,128	1,900
各クラブ利用延べ人数	人	21,051	18,458	14,008	26,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

主催講座として、子どもから高齢者までの各階層向けの講座35回開催し、366人(延べ人数)の参加者があった。講座内容については、市民の学習要求の高い趣味・教養などの文化・学習の講座への対応だけでなく、人権学習会を開催するなど、現在の課題の学習機会を提供した。また、自主クラブ(47クラブ)の活動に対して場所の提供、運営の助言を行った結果、活発なクラブ活動が展開された。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公民館で学んだことを地域に還元する「知の循環」を進めるため、自主クラブによる出前講座の推進を図った。公民館主催講座を開催し、講座で学んだことを継続して学ぶための自主クラブの立ち上げを推進する。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	利用者の高齢化とクラブ員の減少への対応。公民館活動で身につけた教養を地域社会に還元する活動(知の循環)。現在の課題(生命・健康・人権・高齢化問題等)をテーマとした講座の企画・立案や講師の選定。老朽化(築46年)した施設の対応。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域住民の学ぶ意欲を育み、人間関係を育てながら学習情報を提供し、地域住民の親睦や交流の場、文化や体育活動の拠点、子育て支援、子どもの居場所の場となっている。館の維持管理は適切に行われ、市民に安心快適に利用されている。
	改革・改善策等の具体的な内容	生涯学習課の大学連携(プール学院大学)で、公民館の現状と問題点を分析し、大学の専門的な知見、人材を活用し、事業の検証、見直しを行い、新たな学習機会の企画、立案などを行い、地域の活動支援に取り組む。 老朽化した施設については、令和3、4年度で策定する教育施設の再編計画の中で検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	北公民館運営事業・北公民館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての世代が学びあい育ちあえるまちをめざし、市民にとって身近な公民館施設は、市民の実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の実施をもって、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である北公民館の維持管理をする。
(事業概要等)
定期講座を開設する。講習会・討論会・講演会・実習会・展示会等を開催する。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。体育、レクリエーション等に関する集会を開催する。各種の団体、機関の連絡を図り、施設を住民の集会その他の公共の利用に供する。北公民館の維持管理をする。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	15,996	8,462	8,523	9,351	
うち市負担分(千円)	15,818	8,112	8,251	9,135	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
公民館の各室使用回数	回	3,398	2,981	1,095	1,500
公民館の各室使用人数	名	36,658	33,947	10,624	15,000
各クラブ開催回数	回	1,776	1,613	921	1,200
各クラブ利用延べ人数	人	20,727	18,477	9,127	10,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

○北公民館で活動する自主運営クラブの活動場所を提供し、運営の助言を行い、活発な活動が展開されるとともに、その成果を地域に還元する活動を支援した。
○自治会等の各種団体・地域サークルの活動場所を提供した。
しかしながら、新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館又は利用制限等により、前年度実績に比べ、クラブ活動、公民館主催講座、一般利用、全てにおいて利用回数、人数とも大きく減少している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	公民館は市民の最も身近な生涯学習拠点として、市民に親しまれるよう、主催講座などを開催している。さらに、本市の課題である少子高齢化に対応し、子育て世代や高齢者の安心安全に役立つ講座の開催と講座参加者の増加に努めた。 また、特に高齢者の利用が多いこともあり、消毒液等の利用により徹底したコロナ感染予防に努めた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	公民館利用者やクラブ連絡会役員の高齢化とクラブ員の減少、それに伴うクラブ自体の減少への対応。施設の老朽化。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域住民の学ぶ意欲を育み、学びあう人間関係を育てながら、学習情報を提供し、地域住民の親睦や親交の場、集会の場、文化や体育活動の拠点となっている。また、館の運営・維持管理は適切に行われ、市民が安全、安心して快適に利用されている。
	改革・改善策等の具体的内容	市民の学習要求の高い趣味・教養・スポーツなどの、文化・学習・健康活動などの対応だけでなく、「集い・学び・結び」をテーマとした、地域コミュニティの発信施設として、公民館で学んだことを地域に還元していくことに努めた。 桃山学院大学と大学連携するサポーターチームにより、公民館事業の検証、見直しを行い、大学の専門的な知見、人材を活用し、新たな学習機会の企画、立案を図り、地域の活動支援に取り組んだ。 老朽化した施設については、令和3、4年度で策定する教育施設の再編計画の中で検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	②青少年育成	1	健全育成の環境づくり

事業名	青少年育成事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市の青少年健全育成のために、育成機会を創出する。
(事業概要等)	・健全育成のための音楽活動(吹奏楽団)を指導する講師謝礼の支出

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	420	420	195	0	令和3年度より文化活動振興事業に移行
うち市負担分(千円)	420	420	195	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
泉大津市吹奏楽団指導実施日数	日	51	51	13	51

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

市民の社会教育活動が推進された。
令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から活動日数が減った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 現行の取組を進める一方で、事業内容や手法を精査する余地がある。
改革・改善策等の具体的内容	令和3年度より文化活動振興事業に移行	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動の支援
事業名	文化活動振興事業	担当課名	生涯学習課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市民が広く文化芸術に触れる機会を創出し、また市民の文化活動も振興する。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー展やギャラリー展などを開催するとともに、市民が広く文化芸術に触れる機会を提供する。 ・文化活動を行う団体により市民音楽祭を実施する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,955	814	58	11,280	
うち市負担分(千円)	755	814	58	4,910	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
シルバー展出品作品数	点	36	40	0	40
市民音楽祭出演団体数	団体	20	21	0	21
ギャラリー展出品作品数	点	17	13	0	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点からすべての事業を中止とした。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	シルバー展の時期を、11月に開催される市展とずらし6月に変更することで、実質的な展示機会を増やした。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ対策のための新しい手法の検討。
---------	--------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 各世代の文化芸術活動を推進するため、継続的な実施が必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	2	文化・芸術・スポーツ活動の支援
事業名	文化祭運営事業		担当課名	生涯学習課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市民の文化活動を振興するため、成果発表の機会を設けるとともに、多くの市民が文化に触れる機会を作る。
(事業概要等)	市内で活動する多様な文化団体によるステージ発表や市展・学童展などの展覧会を開催する。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,180	3,327	480	0	令和3年度より文化活動振興事業に移行
うち市負担分(千円)	3,075	3,260	480	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
市展出品数	点	119	149	0	150
文化祭参加団体数	団体	43	46	0	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の観点からすべての事業を中止とした。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	11月に集中的に実施してきた「文化祭」に加え、秋～初冬にかけて実施する文化芸術事業を「おづみん文化フェスティバル」と位置づけ文化祭とあわせて発信することで、文化芸術振興の相乗効果を図った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	若い世代が参加しやすいシステム構築が必要である。 コロナ対策のための新しい手法の検討。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 継続しつつ、より多くの市民が参加しやすいシステムをつくる必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	令和3年度より文化活動振興事業に移行

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財保存事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
総合的な地域の文化財の保護や活用をはかる。
(事業概要等)
文化財の指定、および有形・無形文化財の保存や公開をすすめる。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	34,428	2,153	2,378	6,371	
うち市負担分(千円)	7,246	2,153	2,378	6,371	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
池上曾根弥生学習館のべ入館者数	人	10,573	11,243	3,143	12,000
織編館のべ入館者数	人	18,028	13,952	5,074	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
コロナ禍で施設の臨時休館などが行なわれたなかでの事業ではあったが、地域の文化財を市民に伝えるための企画展・講座などを実施し、多くの市民が来館した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 泉大津の歴史・文化は泉大津のアイデンティティそのものであり、後世に受け継ぐべきものであるため、継続して実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財発掘調査事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
開発等により破壊される危険性のある埋蔵文化財の調査等を行うことで、埋蔵文化財の記録保存を進める。
(事業概要等)
埋蔵文化財の発掘調査を推進し、調査報告書を発行する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,886	1,900	1,921	2,033	
うち市負担分(千円)	989	989	961	1,028	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
開発等により発生する緊急調査を数値化することは困難である。					
(成果の概要)					
埋蔵文化財に関する新知見を得て、報告書を発行した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	年度により発掘件数が大きく変わる可能性があるため、予算見積りが難しい。
---------	-------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 文化財保護法にもとづき、市内の埋蔵文化財を保護、継承していくために継続して実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	史料調査保存事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	泉大津のあゆみを後世に伝えるため、古文書等史料を収集・調査・整理し、文化財資料として保存する。
(事業概要等)	古文書の撮影、翻刻、調査リストの作成・保存・修理

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,958	1,867	2,134	2,128	
うち市負担分(千円)	1,957	1,866	2,133	2,127	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
古文書整理点数	件	約5,000	約5,000	約5,000	約5,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
古文書調査の結果を研究紀要や調査報告書へ掲載した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書専門職後継者の確保 ・整理した史料を保存公開システムの整備を検討する必要がある。 ・継続的な調査・研究・成果報告をできる人材の確保
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 古文書調査及び整理は市の責務として行うものであり、専門職により継続的かつ地道な作業が不可欠である。
改革・改善策等の具体的内容	広く市民・研究者に調査史料を公開できるシステムの構築が今後の課題である。現行の人的配置では不可能であるため、史料室の位置づけと体制づくりが不可欠。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実
事業名	勤労青少年ホーム運営・維持管理		担当課名	生涯学習課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
法改正により「勤労青少年」のうち「勤労」及び「勤労青少年ホーム」に関する規定が削除となったが、社会教育関係団体を中心とした活動拠点として運営を行っている。
(事業概要等)
機構改革により、勤労青少年に対する各種の相談事業がなくなり、クラブ活動その他の地域活動の拠点としての管理運営事業を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,368	10,564	10,632	7,722	
うち市負担分(千円)	7,528	9,724	10,372	7,232	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
総利用者	人	27,229	24,373	11,249	12,000
利用者数(ホーム利用対象者である勤労青少年)	人	2,901	4,364	383	400
(指標を設定できない理由)					
勤労青少年に対しての各種相談事業は、機構改革により本庁に移管					
(成果の概要)					
当ホームの利用団体及びクラブ等に対し、自主的活動を支援することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	他施設と重複しているため、英会話教室を廃止とした。
--------	---------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	ホームの老朽化に加え耐震補強の件で、将来廃止の方向で検討されているが、社会教育施設としての存続の声が強くなっている。 泉大津市公共施設適正配置基本計画では第2期(令和4年～8年)に廃止。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 現在の施設では耐震基準も満たしていない状態であり、ハード面での機能は廃止するものである。
改革・改善策等の具体的内容	令和3、4年度で策定する教育施設再編計画の中で、他施設との複合化を検討する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	織編館運営事業・織編館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	-------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまちをめざし、近代泉大津の歴史・文化・経済の基礎となる織維関連資料及び民俗資料等の収集・保存を推進し、調査・研究体制の充実をはかるとともに、博物館活動を充実させることを目的とする。
(事業概要等)
本市の文化財・織維産業の歴史について調査・研究・展示を行い、それについて市民に学ぶ機会を提供する。 毛布の縁で作製した布ぞうりである「モフ草履」を使って、泉大津が毛布とともに歩んできた歴史を広く情報発信する。 またこの事業を実施するにあたり、モフ草履を作製することができる市民を「モフ草履アンバサダー」として認定し、アンバサダーを講師として織編館が主催するモフ草履講座を開催する。 地域包括連携を締結している桃山学院大学と共に、大学連携事業を実施する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,309	12,340	12,843	11,785	
うち市負担分(千円)	11,007	11,573	12,723	11,530	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
常設展示入場者	人	7,110	6,225	2,229	—
企画展示入場者	人	2,637	2,309	1,143	0
ギャラリー入場者	人	7,474	4,842	1,697	—
体験学習等受講者	人	811	576	5	480
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和2年度はコロナ禍により、多くのイベント等が延期・中止を余儀なくされる中、企画展では、7月～8月には平和について考える企画展として「戦時下の子どもたち」、9月～10月には毛布産業の芸術性と技術に注目した「毛布のデザイン画展」を桃山学院大学との連携事業として実施、11月にはあすとホールとの連携事業として「絵図からひろがる世界」を実施した。また、ギャラリーの一般貸出しをおこない文化の向上に寄与した。ただ、体験学習や講座については、参加者や実施協力者の健康、安全を最優先としたため、モフ草履講座を1回実施するに留まった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	コロナ禍が長期化する中、体験学習や講座については、その性質上、必然的に密状態にならざるを得ず、非常に実施が困難な状況となっている。また、実施協力者や参加者は比較的高齢者が多いことから、実施できるようになったとしても、当面は徹底したコロナ感染予防対策とともに規模を縮小して実施するなど、より慎重な対応が必要となる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) コロナ禍における様々な対応策は必要なものの、今後の方向性としては変わりなく、歴史的資料の収集・保存や活用は、本市の歴史や文化を後世に伝えるためには不可欠であり、市の責務でもあるため、現行どおり実施するものである。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	学習館運営・維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまちをめざし、池上曾根遺跡の遺物展示のほか、古代のものづくり体験などを通じて、弥生文化の理解を深めることを目的とする。
・弥生時代の遺物の展示(大型建物掘立柱・大井戸枠など) ・体験学習(勾玉づくり、土器づくり、土管づくりなど) ・弥生の米づくり体験講座(田植え、稲刈り、土器野焼き、火起こし炊飯など) ・夏冬春休みの体験講座(「土面づくり」「粘土で干支づくり」「草木染め」など) ・伝統産業講座(ガラス細工など)

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	10,744	11,577	14,482	16,107	特定財源: 釣銭10、刊行物頒布16、複写機3、講座受講料55、体験学習教材258
うち市負担分(千円)	9,158	10,072	14,140	12,357	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
入館者数	人	10,537	11,243	3,143	12,000

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

- ・入館者数の大幅な減は、コロナウイルス感染症拡大による臨時休館及びイベント等の中止による。
- ・弥生時代の展示物を通して、入館者に弥生文化への理解を深めることができた。
- ・体験学習を通じて、参加者に弥生時代の人々の暮らしなど歴史に対する興味を持つ「きっかけづくり」ができた。
- ・各種の体験講座を通じて、参加者に池上曾根遺跡を中心とした市の歴史を伝えることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用した館のPRを実施している。 ・体験メニューのアウトリーチ活動(出前講座)に努めた。 ・館のボランティアスタッフに、体験学習講習会を実施し指導力のアップを図った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ①館の建築から20年経過し各所に老朽化による痛みが生じている。館の長寿命化のためには大規模な改修が必要である。 ②常設の展示物に開設以来ほとんど変化がなく、来館者(特にリピーター)を引き寄せる力が薄れている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市の歴史遺産を後世に伝えることは行政の責務であり、継続していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	①②令和2年度末に、弥生学習館も含めた池上曾根遺跡の持続的な保存活用方法等の指針となる「史跡池上曾根遺跡保存活用計画」を策定した。今後、計画に基づき館の再整備を進めていく。	